デフレ（Deflation）の語源は？｜金融・経済の英単語

「デフレ・スパイラル」は、英語で言うと deflationary spiral です。まず先に、スパイラル（spiral）の語源について調べてみましょう。

spiralとは、spire（渦巻き、螺旋）より派生した語ですが、この用語自体がすでに「悪循環」「連鎖的変動」を意味する経済用語です。spiralは、ギリシャ語の speyra という「螺旋状のもの」を意味する語に起源を発し、若干の建築用語、医学用語の中に派生語を残しています。

さて、「デフレーション（deflation）」は「通貨縮小」を意味する語ですが、これは de- (離れて) flare (吹く) というラテン語の合成動詞の過去分詞から出た動詞 deflate の名詞形で、原義は「空気を吹き去って抜く」です。

この反対語が「インフレーション（inflation）」です。原義の「空気を吹き込む」から「通貨膨張」の意味に転じました。反復の接頭辞 re-がついた reflate という動詞があり、こちらは「通貨が再膨張する」ということになります。名詞は reflation (通貨再膨張)です。専門家は「リフレ」と言いますね。

この flare というラテン語の派生語は限られた医学用語に残るのみで、flatus (腸内ガス) 、flatulent (鼓腹性の)のような難しい語のほか、amatus (霊感)という不気味な単語もあります。

flare の派生語で筆者が怪しいとにらんでいるのが楽器のフルート（flute）です。手元のランダムハウス辞典で調べてみましたが、古プロバンス語までしか語源がさかのぼれず、その後不明というような記述がありましたが、古典ラテン語で flautus という語もあるので、少なくとも親戚の言葉だろうとは思っています。

西洋の人は「息を吹き込む」ということには神秘的な感じをもっていたようで、spirit （精神）、spiritual （精神的な）も元は「息をする」という語につきあたり、吹き込むと「インスピレーション（inspiration）」という語になります。

spirit をフランス語では「エスプリ」esprit といいます。person（パーソン）も非常に古い時代に per-（貫いて）son（音を入れる）という意味だったそうです。土の塊だった人間に神様が息を吹き込んで「魂」を入れて人間にしたという発想です。

動物の「アニマル（animal）」も元はイタリア語の anima（魂）の形容詞形で、言ってみれば「魂を吹き込まれたもの」という意味です。「アニメ（animation）」 も魂を吹き込まれなければ動き出さないですよね。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部